

平成22年度 決算報告

平成22年度の一般会計および特別会計の決算が、9月議会で認定されました。

歳入総額は 90億8,394万円
歳出総額は 86億1,076万円

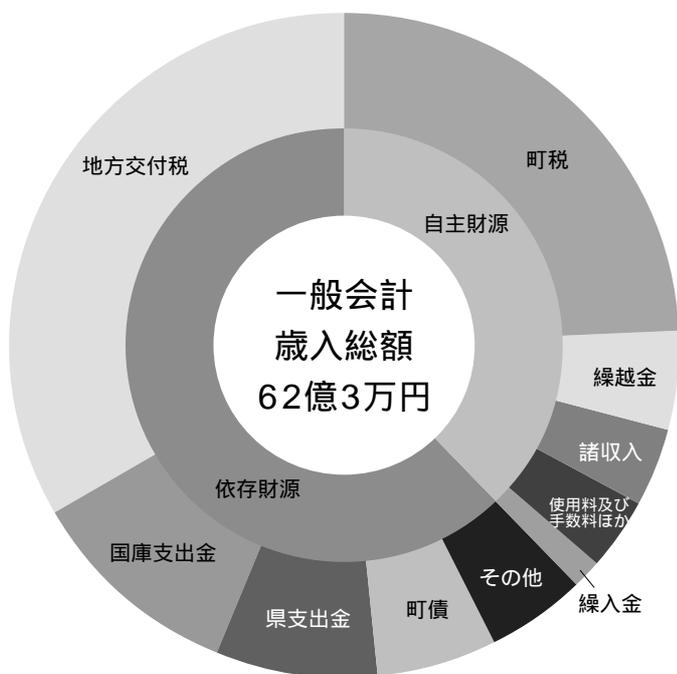
みなさんから納めていただいた税金や国・県からの交付金などが、どのように使われたのか一般会計を中心にお知らせします。

歳入

平成22年度の一般会計の歳入総額は、62億3万円でした。

自主財源 23億4,251万円(37.8%)

依存財源 38億5,752万円(62.2%)



	区 分	金 額	構成比
自主財源	町税	15億1,001万円	24.3%
	繰越金	2億9,542万円	4.8%
	諸収入	2億3,814万円	3.8%
	使用料及び手数料ほか	2億1,448万円	3.5%
	繰入金	8,446万円	1.4%
依存財源	地方交付税	20億7,494万円	33.4%
	国庫支出金	6億4,321万円	10.4%
	県支出金	4億8,108万円	7.8%
	町債	3億5,810万円	5.8%
	その他	3億0,019万円	4.8%
	合計	62億0,003万円	100.0%

財政用語解説

【自主財源】

町税や町の施設の使用料など町が独自で徴収するお金

【依存財源】

地方交付税や国・県支出金など国や県から町に入ってくるお金

【町 税】

町民のみなさんに納めていただいた町民税、固定資産税、軽自動車税など

【繰入金】

基金などを取り崩したお金

【繰越金】

前年度の余剰金として繰り越されたお金

【使用料及び手数料】

町の施設を利用した時の使用料や、住民票交付などの手数料として集めたお金

【地方交付税】

国から国税である所得税・法人税・酒税・消費税やたばこ税の一定割合を市町村の実情に応じて配分されたお金

【国庫・県支出金】

特定の事業に対し国や県から交付されたお金

【町債】

大きな事業を行うときに、町が国・県などから借りたお金